

## 松石聖一のあゆみ



- 1949年(昭24)5月 奈良市柳町で生まれる。  
済美小学校、菁々中学校、東大寺学園高校を経て、  
関西大学工学部電子工学科 卒業
- 1976年(昭51) シャープ関連会社に就職  
1979年(昭54) 奈良市議会議員に当選、以来 連続11期当選。
- (現在の役職) 市議会建設企業委員会委員  
関西大学校友会代議員・奈良県関大倶楽部顧問
- (過去の役職) 奈良市監査委員・奈良国際文化観光都市建設審議会委員  
(趣味・特技) こどものころからハム(アマチュア無線)に興味を持つ。  
日本ユニセフハムクラブ会員として、ユニセフ活動にも参加し、  
古切手運動ボランティアを続ける。  
奈良市生涯学習センター災害時通信ボランティアの会主宰  
議会では財政・環境・防災・救急体制整備が専門。  
防災士として活動 南海トラフ・奈良盆地東縁断層地震などに備える。 第1級アマチュア無線技士

### 松石君とともに！

松石聖一後援会代表 中村 悟 (弁護士)

人間、特に社会的に立場の弱い人々に対するやさしい視点を持ち、その立場に立って行動する。

そして、ひとり一人の声を大切にし、市政に確実に反映させる松石君。

彼の得意分野は、まちづくりと、それを裏付ける財政対策。

すばらしい未来の奈良市を、松石君とともに作りましょう。



### 主人公はひとり一人の市民！

「机の上だけでの仕事はしない」これが私の主義、必ず現地に行き、聞き取り調査、議会で議論される案件のすべてを慎重に調査します。

本当にこの決定で良いのか、こどもや高齢者にもっとやさしい方法はないか。

活動の基本はすべて現場主義。そして市政の主人公は市民。

直接お聞きした市民の声を確実に市政に反映させます。

教育・福祉・税金・法律など市政・生活相談は **松石聖一後援会** ☎ 630-8131 奈良市大森町283 ☎ 22-5354

# 安心して暮らせる街づくり

奈良市議員 **無所属**

まつ いし せい いち

# 松石聖一



後援会のしおり

討議資料



住まい

# 安心して暮らせるまちに



12月号のまちづくり

## 救急・医療体制の確立を



2020年の救急出場件数はコロナの影響で減少しましたが、過去数年は、年間2万件以上、毎年2千件づつ増え続けています。

奈良市は核家族化・高齢化も進んでいます。子育て中の母親や高齢世帯が安心できる救急体制の整備を。

- ▶ 女性救急隊員・救命士の増員、そのための施設の改良に取り組みます。
- ▶ ドクターカー、24時間の運行を実現します。

## 環境を守り、みどりを守る市政を

奈良市の大切な文化財が、大気汚染などにむしばまれています。

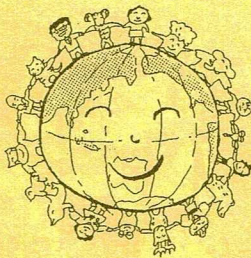
小・中学校での太陽光発電や風力発電、学校近くの小川を利用したマイクロ水力発電など自然エネルギーの利用と、井戸水による校庭緑化に取り組み、こどもたちにも自然環境の大切さを教えたいと思います。

## 財政の再建をはかります

奈良市の財政状況は、中核市60市中59番目(地方債現在高・将来負担比率)。市債残高(借金)は、総額1860億円、市民ひとり当たり55万円。一個人市民税割合は第5位(43.7%)税金の占める割合が大きい。(R1決算)

- ▶ 税金の無駄遣いをなくす議会の監視機能を高めます。
- ▶ 使い道を市民に明らかにし、執行の効率化をはかります。
- ▶ 安易な、税の(消滅時効)不納欠損を許さず、公平な負担を求めます。

## 松石聖一は地域の課題に取り組みます



## 歴史的風土の景観を護ります

おおによし奈良の都と読み睡われた奈良市の魅力は歴史的景観です。

當々と受け継がれてきた社寺の建築物と共に、奈良盆地を取り囲む青垣の山並みと一体化した歴史的風土の景観を護り、次代に受け継ぐ施策を進めます。

## 防災対策の確立を

活断層が市街地を貫く奈良市では、防災対策は欠かせない課題です。

30年以内に南海トラフ巨大地震が発生する確率は70%以上。そして、奈良盆地東縁断層帯の直下型地震にも備えを。

- ▶ デジタル同報系防災無線個別受信機の各戸への配備。
- ▶ 安全な避難場所の確保と誘導システム
- ▶ 食料・水の確保など防災・減災体制を。

## 学校園施設の整備を

### すすめます

こどもたちが長時間を過ごす、学校園の安全対策、避難通路や誘導システム確保に取り組みます。

一部の学校では危険な老朽施設が残されています。施設の改修、長寿命化を図ります。

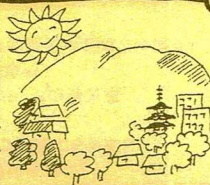
これまで取り組んできた、水道の直圧給水化、安心して飲める、学校の直圧給水を進めます。



## 安全・安心のまちづくりを

令和3年度まで計画期間が延長された、安全・安心まちづくり基本計画を更に充実させるため、早期に次期計画の策定を進めます。

高齢者・体の不自由な人たちにとっては、数センチの段差が危険。生活道路の傷み・穴ぼこなどの一斉点検を進め、歩道のバリアフリー化をはかります。



## 奈良から平和のメッセージを

市民が安心して暮らせる街づくりの原点は「世界の平和」です。

世界遺産を有する、歴史都市、国際文化観光都市、非核平和宣言都市の、奈良から世界へ平和のメッセージを。そのために平和憲法を護り、こどもたちに平和の心を育む街づくりを。



松石聖一後援会に入会して下さい

- あなたの友人・知人にもよびかけて下さい
- 連絡先＝奈良市大森町283 TEL 松石聖一後援会事務局 (02)5354-

## 地域公共交通、市民の足を守る施策に取り組みます

公共交通・バス路線の縮小・廃止が続いています。

運転免許返納者が増えると、「地域の足」確保が課題。

H29年から始まった地域交通会議を有効なものにするため定期開催。市民の移動する権利や、公共交通の位置づけを明確にした政策を。